



Japan Translation Federation

日本翻訳ジャーナル

社団法人日本翻訳連盟機関誌

2009年7月/8月号

— CONTENTS —

Report

巻頭言.....	1
平成21年度通常総会.....	2
経営者の声.....	5
翻訳者の声.....	6
現場の声.....	8
助成金制度のご案内.....	9

Honrenso

ほんれんそう No.140	10
---------------------	----

Information

Take Five (20).....	12
翻訳環境研究会報告	13
法人会員プロフィール.....	14
個人会員プロフィール.....	15
JTF ニュースフェイス	16
事務局だより	16



KI TAFT システム
による
科学的品質管理

独 SAP 社認定翻訳パートナー
米 HP 社認定翻訳サプライヤー

 株式会社川村インターナショナル

社団法人日本翻訳連盟

〒104-0032

東京都中央区八丁堀 2-8-1 牧野ビル 3F

TEL ■ 03-3555-6365

FAX ■ 03-3552-1784

発行人 ■ 東 郁男 (会長)

編集人 ■ 野上 員生

E-mail ■ info@jtf.jp

URL ■ <http://www.jtf.jp/>

ローカリゼーション・プロセス・リエンジニアリングの推進

相馬 正幸 SDL ジャパン (株) 代表取締役社長

2008年8月よりSDLジャパンにて翻訳・ローカリゼーション、テクノロジー・ソリューション、コンサルティングサービスの提供をさせていただくことになりました。

SDLを選んだ理由の一つ目は、イギリス本社のグローバル企業であること。アメリカのIT企業にて長年仕事をしてきたこともあり、アメリカ文化圏以外、特に歴史あるイギリス文化に非常に興味があったことがきっかけです。アメリカン・ロックとブリティッシュ・ロックの音楽性の違いがビジネスの世界ではどうなのかにも興味がありました。

二つ目は、ローカリゼーション・ビジネスという、私にとっては新たな業種に興味があったこと。SDLは、ローカリゼーションの会社としてスタートしましたが、TRADOSをはじめとして数々のソフトウェア・テクノロジー企業を買収し、ビジネス規模、内容を飛躍的に拡大しています。翻訳サービスの中で労働集約的な部分をテクノロジーを有効活用し、生産効率と品質を極限まで高めていくビジネスの方向性に共感しました。

三つ目は、女性比率が多いということです。以前、仕事をしていたIT企業でも女性の登用により成果を上げていました。日本では、翻訳業務およびプロジェクトマネジメントに関して約80%が女性です。正確、緻密、忍耐力など女性の資質を十分に生かして活躍しています。

SDLジャパンのビジネス方針は、グローバル企業に対してローカリゼーション・プロセス・リエンジニアリングのコンサルティングを実施しGlobal Information Management (GIM) の統合ソリューション・プロバイダーとして確固たる地位を築きあげることです。今後は、翻訳・ローカライズビジネスもワード単価課金から、お客様の本質的な要求に対してどのように統

合的な提案をできるかが大きな価値基準となってくると思います。このような提案は、サービス、テクノロジー、コンサルティングの3要素で構成するSDLにとっては得意分野です。

おかげさまで、昨年来よりグローバル企業に対してのコンサルティングを通じて、ローカリゼーション・プロセス・リエンジニアリングの提案が受け入れられ、SDLジャパンのビジネス規模は急速に拡大しています。それにともない、優秀な人材を発掘し育てていくことを優先的に推進していきたいと考えています。また、コンサルタントとして実務経験豊富な人材の育成も重要です。そして、より多くのお客様に、より有益なサービスを提供し、さらなる発展を目指したいと考えています。

私生活では昨年より東京都心から千葉房総に拠点を移し、広い土地で庭作り、畑作りをはじめました。私自身は中々時間的余裕がなく近所の農家の方々まかせではありますが、たくさんの農作物を育てています。雨の日の翌日など、驚くほど成長している農作物に自然の驚異、農業の偉大さを感じています。

地産地消、身土不二を実践し、健康に気をつけていこうと考えています。猛暑の折、皆様どうぞお体をご自愛ください。



平成 21 年度 通常総会

平成 21 年 6 月 4 日（木）、ホテル銀座ラフィナート・月光の間において、平成 21 年度 JTF 通常総会が開催されました。

総会に先立って翻訳家の蓮池薫氏（新潟産業大学専任講師）による基調講演が行われ、また総会の後には、経済産業省・商務情報政策局サービス産業課から竹本林官様と松崎英司様の出席を頂いて懇親会が開催されました。

蓮池薫氏の講演は、「韓国語と日本語の翻訳 ～韓国から日本へ文化の橋渡し役として～」と題するもので、隣国の言語のわりにはあまり知られていない韓国語の翻訳について興味深いお話を聞かせていただきました。さすがに蓮池薫氏の講演への関心は高く、その結果、総会への参加者も増えたように思われました。

総会では、以下の議案について採決し、すべてが可決されました。特に第 5 号議案においては、昨年の翻訳祭企画実行委員としてご活躍いただいた川村みどり氏が JTF の新理事に推挙され、承認されました。川村氏は、すでに本年度も同委員会の委員長に就任され、活動を開始しておられます。

1. 平成 20 年度事業報告の件
2. 平成 20 年度決算報告ならびに監査報告の件
3. 平成 21 年度事業計画の件
4. 平成 21 年度収支予算の件
5. 新任理事 1 名承認の件
6. その他

総会に続いて、同ホテルの日光の間において懇親会が行われました。今年も多数の会員の方々が参加され、楽しいひとときとなりました。



左から、寺田事務局次長、星田専務理事、東会長、野上副会長、井口常務理事、丸山常務理事



知的財産の世界で人材は 常に求められています。知財ヒューマンリソースズ®

私どもは、1976年の創業以来、知的財産に特化してきた翻訳会社です。従来より、その特徴を活かして企業知的財産部や特許事務所など、知財の最前線に特許翻訳者を紹介してまいりました。知的財産の分野を志されている皆様には、活躍の場やキャリアアッププランの一つとしても、ご活用いただけます。

- お問い合わせ先 ▶ e-mail: tps@chizai.jp
- 詳細は当社ウェブサイトにて ▶ www.chizai.jp

派遣登録のご案内 登録随時！ 一般労働者派遣事業許可番号 般13-080286

当社（派遣元）と雇用契約を結び、派遣先企業で業務に従事していただきます。キャリアに適した案件があり次第ご案内いたします。

■勤務地■東京近郊だけでなく、全国に対応しております。海外での就業の機会もあります。

■ご登録■随時受け付けております。ご応募の際には、写真貼付の履歴書、職務経歴書（書式自由）をご用意ください。

講演：蓮池 薫氏 新潟産業大学専任講師 翻訳家

「韓国語と日本語の翻訳 ～韓国から日本へ文化の橋渡し役として～」

【翻訳を始めた経緯】

翻訳をやってみたいという気持ちは、もともと心の中にありました。ただ、最初はちょっと苦い経験もしました。帰国後、2カ月か3か月くらいの時に、ある出版社から北朝鮮の旅行ガイドの監修をしてくれないかという話があり、短期間にできる仕事の割には結構な報酬を貰えるというので、引き受けてしまったのです。ただ、当時の私の立場としては北朝鮮寄りの話や宣伝をするわけにはいきませんでしたので、名前は監修者として出すのみとし、宣伝には一切使わないという話で進めてもらいました。ところが、本が出てみると、驚いたことに、名前がガンガン宣伝に使われているのです。私はこれに強く抗議し、「お金なんかもういらないから、名前を出さないようにしてくれ」と言ったところ、本当にお金は入って来ませんでした。結局、ただ働きで宣伝に使われるという、ひどい結果になってしまいました。

その後、英語の翻訳家である高校時代からの無二の親友に相談したところ、「やるならきちんとした人に助けてもらって、しっかりやれよ。いつでも声かけろよ」と言ってくれました。しばらくはその言葉を胸に秘めたまま市役所で働いていましたが、子供が日本に帰ってきたのをきっかけに、翻訳をやろうという気になり、改めてその友人に相談したところ、エージェントの方を紹介してくれて、『孤将』というデビュー作の翻訳をすることになったのです。一冊の本を丸ごと翻訳するのは初めての経験でしたので、友人にどうやっていいのか尋ねたところ、「とにかく商品としての翻訳をしろ。意味が通じるだけでは駄

目だ。その本に流れている論理と感情が途切れないよう上手く繋げるのが翻訳だ。そのためには十回も二十回も読み直して、最終的に自分で新しく小説一本書きあげるようなつもりでやれ」と言われて、その時は随分怖い気持ちになりました。

その翻訳した本は歴史小説だったのですが、時期が違う場面が突然フラッシュバック的にどんどん出てくる小説で、随分苦しめられました。その場面が現代なのか過去なのか、また、どうやったらその論理性や感情を繋げられるのかが非常に難しく、途中で止めたくなったりもしました。結局、エージェントの方や友人のアドバイスを力にして訳し終え、最終的に世に出すまでには8か月かかりました。出版社に原稿を送信してから返事が来るまでの間は、非常に緊張していましたが、ものになりそうだという答えを頂いたときは飛び上がるほど嬉しかったです。苦い経験から始まった私の翻訳業ですが、今までに20冊近く翻訳することができました。

【韓国語の翻訳で心掛けること】

韓国語の翻訳では、日本語と似ているからその苦悩やつらい点があります。ものの考え方や文章表現が非常に似通っているし、ことわざなども似ているものがたくさんあります。ただ、微妙なところで違うのです。

まず、その一つは感情表現です。特に悲しみの場合、日本人はぐっと抑えて、それによって、本当の悲しみが伝わってくるようなところがありますが、韓国では、悲しみはその場で率直に表現する、というところがあります。『オモニ』という私が翻訳した本の中に、家出して長い間行方不明になっていたお父さんが交通事故に遭ってしまい、病院で意識不明になって寝ているという場面があります。そこにその家族がわっと入ってきて、周りに他の患者がいるなか、「お父さん！」と声をかけ、お母さんが子供たちに「お父さんと呼びなさい！ そうすれば意識が戻ってくるよ！」というのですが、その切なる表現のところが韓国語では「大きく叫ぶ」となっているのです。もちろん、この気持ちはわかりますが、日本の感覚では、周りに人がいるときにそういう感情表現を出すのはどうか、それで悲しみや切なさが伝わるのかという点で悩みましたが、そこは「叫ぶ」ではなくて「話

しかけた」という風にちょっと抑えた表現にしました。これは韓国と日本のどちらがいい、ということではなく、日本人の読者にも感動が伝わるように、色々考えた結果、トーンを下げた感情表現で対応したということです。

それから習慣の問題です。『ハル』という本で詩を翻訳したことがあるのですが、その中に「春ののどかな日にぽっかり浮かぶ雲を見ていたら、突然昔の恋人のことが思い浮かんで無性に会いたくなった。ジャージャー麺の配達員になり済まして、その家に行って恋人に一回会ってみたい」という言葉が出てきます。向こうではジャージャー麺というのは日本のラーメン以上に生活に密着していて、その配達も普及しているという背景があるので、韓国語だと「配達員になって行って、顔見たいな」という気持ちはよく伝わってきます。しかし、日本語でこのまま翻訳してしまうと、まず「ジャージャー麺ってどんなもの？」というところからはじまって、なかなか感情が伝わらないのではないかと。それで編集者の方と相談して、「ピザ」にしようかなどと考えてみましたが、それでもおかしいので、最終的にはここは「ただ顔が見たい」という表現に収まりました。このようなところでは色々悩んだりもしました。

それから、漢語に非常に共通点が多いというのも落とし穴です。日本語では漢語は辞書の約50パーセントですが、韓国語では70パーセント程度が漢語だと言われています。それらの漢語は漢字語として日本語でも意味が通じないこともないので、ついついそれに慣れてしまうとそのまま漢字にしてしまい、文章がとても硬くなったり、重くなったりしてしまいます。さらに、韓国語では意外に繰り返しの表現が多いという特徴があります。特に「私」という主語は小説だとよく出てくるのですが、ついつい油断して向こうのテンポそのままに訳してしまい、「私は、私の、私が」のようになって、日本語のテンポを狂わせてしまう。このように、似ているからこそ、その微妙な差に敏感に気づくことができず、ついつい韓国語式日本語になってしまう、という点に最初のころはずいぶん苦労しました。しかし、それを克服する過程が多少なりとも翻訳が上達していく過程だったのかなと今では思っています。



懇親会



東 郁男会長

東郁男会長【(株) 翻訳センター 代表取締役社長】

以前から、翻訳業界というのは景気の影響を受けない、不況に強い業種だと言われてきましたが、さすがにこの100年に一度という未曾有の経済危機の中で、この0業界も少なからず影響を受けております。しかしながら、それでも日本の各企業は国際的に打って出なくてはならず、そのために必要となる翻訳は引き続き発注されてくるものと思います。たとえば私の会社におきましても、日本の上場会社約4000社のうちどれだけの数が顧客になっているかという、まだまだ微々たるものです。ある程度は顧客の業種や分野を絞る必要もありますが、その幅を広げることを考えていけば、翻訳の潜在需要はまだまだ多く存在するのではないかと思います。厳しい中ですが、業界一丸となって翻訳業界を盛り上げていきたいと思っています。引き続きご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

しげのり
竹本林官氏【経済産業省 商務情報政策局 サービス産業課】

現在わが国では、サービス産業生産性協議会を通じて、GDPの約7割を占めるサービス産業の生産性向上活動を進めているところです。この活動には、様々な切り口が考えられます。業務を効率化させて生産性を上げるという形もあるでしょうし、サービスの付加価値を高めることによる生産性向上もあります。しかし、やはりサービスの基本は質です。そして、それをもたらす人材の育成が鍵になります。そういう意味において、日本翻訳連盟は、20年以上にわたって約5000名もの〈ほんやく検定〉合格者を輩出し、業界に役立つ人材を育て上げられて来られたということは、私たちが現在進めている生産性向上活動を、もう約20年も前から行われてきたということになります。昨今、非常に厳しい経済情勢ではございますが、そういった地道な努力は、きっと実を結ぶものと思っています。



竹本 林官氏



川村 みどり氏

川村みどり JTF 新理事【(株) 川村インターナショナル 代表取締役】

一言で言えば、私は出戻りでございまして、10年以上前にJTFの理事をしていたことがあります。検定の委員長をしていて、色々なことを考えました。それで、力不足、しばらくお休みさせていただきましたが、思いもかけず、今年の翻訳祭の企画実行委員長という大役をお引き受けし、理事に就任させていただくことになりました。先日、長年購読している雑誌に、人の能力は「知識」と「技術」と「心構え」の三辺で表すことが可能であり、そして「心構え」とは「積極性×明朗性」で表せると書いてありました。私、この部分だけは、そこそこいけるのではないかと考えております。理事に就任させていただいて、知識と技術は皆様に色々ご指導いただきながら頑張れば、心構えの点では、皆様のサポートに支えられつつ、何とか今の心構えが続いていくと思います。よろしくお願いいたします。

【経営者の声】 最近の翻訳業界 — 将来のベトナム語需要に注目

仲谷 幸嗣 (株) トランスワード代表取締役

米国発の金融危機、その後の実体経済への影響により日本の翻訳業界も大きな影響を受けています。弊社は主として工業技術分野の翻訳しているため全体的な翻訳受注量は減る傾向です。しかし内容を見ると減っている部分と、反対に増えている部分があります。また言語的には中国語の伸びが目覚しく、ついでベトナム語関連翻訳が増えつつあるようです。

これからの翻訳業界で勝ち残っていくには市場の動向を見つめ、需要が増える分野にすばやく移行する必要があります。また同時に今後有望な言語への対応をする必要がありそうです。

現在増えつつある翻訳は中国語、今後増えそうなのがベトナム語への技術文書です。

自動車を代表とする日本の工業製品メーカーは今、中国市場に活路を求めています。このため輸出用工業製品のマニュアル類の翻訳はこれまで英語のみだったお客様も、同時に中国語への翻訳も依頼されるようになりました。弊社の中国語関連翻訳受注量は件数ベースで09年は08年の約2倍のペースで推移しています。

ベトナムは中国に比べ5~10年くらい遅れながら経済発展中です。一人当りのGDP、給与水準などは中国の半分程度です。ベトナムの人口は約8500万人程度であり、13億超の中国市場に比べると小さい市場のように感じますが、イギリスもフランスも6000万人程度の人口であることを考えると決して小さい国ではありません。加えてベトナムは中国同様、

貪欲に経済発展を目指しているのもこれからの市場として大いに期待できます。

ベトナムはまた最近、中国に次ぐ世界の工場として脚光を浴び、台湾をはじめとする世界のメーカーが盛んに投資を行っています。広島からホーチミンに行くには台北経由の中華航空で行くのが便利ですが、広島から台北までの便は飛行機も小さく、乗客もまばらです。しかし台北からホーチミン間は飛行機も大きくなり、ほぼ満席の状態です。このことから台湾人のベトナム詣が盛んであることが分ります。ちなみに08年の対ベトナム外国投資は台湾が一位、日本が二位です。

ベトナムの翻訳事情

私はこれまでベトナムを計4回訪問し、翻訳事情を見てきました。最近の訪問は09年6月です。ここで最近のベトナムの翻訳事情について少し紹介しましょう。

1. ベトナム語関連の翻訳は言語と文字の特殊性のため、翻訳者はベトナム語ネイティブに限られる。
2. ホーチミン市内には過去5年の間に多くの翻訳会社が出来たが、ほとんどは数名から10名くらいの小規模な組織である。そして主要顧客はベトナム政府と関連組織である。
3. 翻訳者は大学の教授レベルから大学卒業直後レベルの人が入り混じり、専門ではなくアルバイト的に仕事をしている人が多い。このため翻訳品質の差が極めて大きい。(私は長年中国の翻訳レベル

を見てきましたが、ベトナムは中国以上に品質のばらつきが大きいと感じています。)

4. ベトナム語への翻訳需要が最近増えてきているため、「手軽に稼げる商売」との認識で新規参入が多い。これが品質が安定しない第一の原因であり、発注者側としては注意が必要である。

5. 日本の一部のメーカーは既にベトナム市場向けの翻訳を現地で行っているが、品質のばらつきが大きいので発注先の選定に苦労している。

これからの翻訳業はビジネスを支える「ノウハウ」で勝負しましょう。

我々日本の翻訳業界は過去40年間、主として日本の輸出入メーカーさんと共に成長して来ました。この間に我々が得たノウハウは以下の通りです。

1. 世界中の顧客が求める翻訳品質レベルの理解と、それを達成・維持するための方法。
2. 翻訳コストの低減とスピードアップの手段。
3. サービス業としての翻訳業の認識と顧客満足追求のためのノウハウ。

これらは翻訳対象の分野、言語、地域が異なっても共通のものです。日本国内の翻訳業界は劇的に変わりつつありますが、これらのノウハウさえしっかり持っていれば活躍の場は今後、世界中に広がっていくと思います。私は中国に次ぐNEXT翻訳市場であるベトナムでこれを実践していきたいと考えています。

**TECH
STATE**

優れた技術力が生み出す、圧倒的な高品質！
有限会社 テック・ステート

品質に
自信

技術者によるテクニカルレビュー

納品後の検証作業を大きく軽減

翻訳者募集中！

常に新しいIT技術の情報を
習得し続ける向上心の高い
翻訳者を募集しています

頼めば分かる！当社の技術力は期待を裏切りません！

東京都武蔵野市吉祥寺北町 1-1-18 JStudio ビル TEL:0422-22-7332 FAX:0422-22-7338 <http://www.techstate.co.jp>

【翻訳者の声】 海外在住翻訳者への道のり

工藤 英敏 技術翻訳者・通訳者、JTF 個人会員

住み慣れた仙台を離れ、2009年4月から事業拠点をオーストラリアに移しました。もともと地方に住んで翻訳業を営んでいいたため、すべての仕事はインターネットを介して飛び込んできます。翻訳に専念してから5年目に入りましたが、クライアントと顔を合わせたプロジェクトは数えるほどしかありません。まさに、現代のインターネットを中心とするテクノロジーが生み出した、次世代翻訳者と呼んでいただいても結構です。

「こんなことなら、どこに住んでいても同じことだ。いっそのこと海外に行ってしまう！」といった浮かれ調子で海外に移転することも次世代翻訳者には容易いことと思われるかもしれませんが、次世代であろうと、旧世代(?)であろうと、すべては実力次第の翻訳業界なので、私のような小心者には、簡単にできない決断です。むしろ私の場合は、見通しの甘さと挫折が原因で、かなりの遠回りの結果、再出発としてオーストラリアの地に立つことになりました。

オーストラリア人の妻を持つ私は、今から10年前、日本に住んでおりました。もともと通信機メーカーに勤め、その後、自然環境に関する仕事に転職していた私は、充実した日々を過ごしておりましたが、妻の父がガンを患ったことから、大きく流れが変わりました。妻が、オーストラリアに帰ると言い出したのです。「余命数か月と診断された義父と時間を過ごそう」と、当時6か月の赤ちゃん(初孫)を抱きかかえて、私たちはオーストラリアのビクトリア州の片田舎の、さらに山の中にある実家に転がり込みました。

そんな片田舎で仕事などあるはずもなく、それでも、まあどうかなるだろうといった甘い考えでした。その後、資格を取れば何とかなるだろうと、TAFEカレッジで2年間勉強し、国土保全部のディプロマを取得した私は、これで仕事も大丈夫と思ったところ、見つけれなかった仕事は、数か月の短期契約で、まったく生活の目処が立ちません。二人目の子供もいたため、ブラブラ毎日を過ごしているわけにもいかず、半分は挫折の思いで、日本への帰国を決断したのです。

子供も小さく日本語が分からないた

め、幼稚園のことや小学校のことなど、私が段取りすることが多く、なかなか家を空けられません。家に居ながらできる仕事として、翻訳を始めたのが、この業界に関わる発端となりました。「翻訳できます」と手を挙げて、翻訳の仕事が来るはずもないので、翻訳に関する書籍を読み漁り、日々練習に励み、トライアルに挑み続け、少しずつ幅を広げて今日に至りました。翻訳者への近道があるかどうかは知りませんが、遠回りがあることは確かです。このとき、JTFほんやく検定が一つの目安として存在し、これに向けて勉強ができたことで、挫折せずに翻訳者になれたといっても、大げさではないと振り返ります。翻訳士の認定を受けたことで、「翻訳士の實力はこの程度か?」と言われるのも悔しく、さらに慎重に仕事をするようになったのも事実です。また、TRADOSを導入したことで、私の取引に大きな変化が生じました。海外からの依頼が急激に増えたのです。それまでの取引は日本国内の翻訳会社ばかりでしたが、現在は、7割の業務が、米国、英国、中国からの依頼です。特にこの1年は、中国からの引き合いが多くなっています。その多くが、日英翻訳であり、さらにそのほとんどが、自動車関連であることにも驚きます。私が電気電子回路のエンジニアで、現役時代から特許を多く扱っていたことも事実ですが、自動車メーカーが、次世代タイプの自動車開発で巻き返しを図っている様子が、私のような小規模な翻訳者にも明らかに感じ取ることができます。

そして再び、下の子が小学校に入るのを機会に、オーストラリアに戻ることを決めました。小さな子供にも、しっかりとアイデンティティがあり、オーストラリアで育った子供たちは、自分のホームグラウンドに帰って、さらにのびのび学校生活を送っているようです。私自身も、海外との取引が多いことで、日本に住む理由が、特になくなったことは事実ですが、翻訳者として一人前になるには、諸外国の文化を知らなすぎると自覚していることも大きな理由です。英語文化を体で学び、実務翻訳と言えども、その言葉を使う人の背景が少しでも見えれば、もっとよい翻訳ができるようになるのではないかと、再び甘い期待を抱いています。そして、雪の降る仙台を離れて、Tシャツで日々を過ごしている妻の小言(冬嫌い)が少なくなったことで、私の気苦労が減ったのが何よりの救いです。

<工藤英敏氏プロフィール>

1992年、大手通信機メーカーに入社し、マイクロ波回路と光回路の融合部である電気光変換回路の設計や半導体の設計に従事。その後、環境コンサルタントを経て、オーストラリアのディプロマを取得、2005年から翻訳者として独立。GISのエキスパートとしても並行して活動中。

<http://www.kankyo-gi.net/>

フリーランス 募集

freelance translator 翻訳者

http://www.alvis.co.jp

▶▶▶▶▶ 詳しくはホームページをご覧ください

言語 英・中・韓・EU諸国言語 他

分野 半導体(電子部品)、コンピュータ、医薬、動物薬、バイオ、化学等

応募方法 弊社サイト応募フォームより



株式会社アルビス

大阪オフィス TEL: 06-6532-2367 FAX: 06-6532-2369

東京オフィス TEL: 03-5960-0583 FAX: 03-5960-0587

【翻訳者の声】 日英の金融翻訳者としての私の仕事術

ウィリアム・テイラー 金融翻訳者、JTF 個人会員

簡単な自己紹介とフリーランス翻訳者になった経緯

国籍はアメリカ。10年ほど日本語を勉強しました。初めて来日したとき、英会話教師として働きました。そして日本の魅力にはまり、もう少し面白みのある職業に転職したいと思い、ウェブサイト開発会社で社内翻訳者になりました。その後、別の会社で株式取引システムの関連文書の翻訳に携わり、金融翻訳は私にとって最も面白い分野だと思い、金融を専門分野としてスキルを磨いていきたいと思いました。翻訳を始めて色々な分野の翻訳に関わりましたが、やはり一つの分野に絞ることはとても重要だと思います。専門分野を選定した上で背景の知識を深めるため、翻訳学校に通い、金融に関わる検定をたくさん受けました。去年からCFA協会認定証券アナリストのプログラムに参加をし、これから金融に関する知識を磨き、自己啓発を続けたいと思います。

現在手がけている仕事について

現在手がけている仕事は、全て翻訳会社からの仕事です。これからは是非ソースクライアントから翻訳案件を受けたいのですが、たくさんの経験を重ねることやコネを作る必要があると思います。

金融危機以降、不況による受注の影響と対策

仕事の量は著しく減ってはいませんが、単価の安い仕事のオファーが多くなっています。一文字3円など非常に安い仕事も出回っています。そのような仕事を受けた場合、日本で生活出来ないと思いま

す。その影響で一つのクライアントが前の単価を下げようという相談もたまにあります。翻訳会社と翻訳者の間にwin-winな関係を作る重要性がなおさら高くなっています。

翻訳会社と取引する際の心がけ

翻訳会社と取引する際に心がけることは、すぐに連絡を取れる状態を保つことです。海外へ行ってもこまめにメールをチェックしています。

ツールの活用

作業効率を高めるため、こまめにExcelベースの用語集を作成、維持しています。また、翻訳メモリーを活用しています。TradosやWordfastをよく利用しています。翻訳メモリー等以外、Dragon NaturallySpeakingという音声認識ソフトウェアをよく使います。音声認識ソフトにより、手が疲れない、より長く作業できます。後は、編集の段階でTextAloudという読み上げソフトウェアを使って誤字を洗い出します。読み上げソフトを活用することにより、スペルチェックだけでは見つかりにくい誤字、脱字、訳抜け等を見つけることができます。

関連サイト・SNSの活用など

SNSを利用している翻訳者が大変多くなっています。TwitterやFacebookを活用している日英翻訳者はたくさんいます。メーリングリスト等（Google Honyaku Mailing List, JAT Mailing List）はまだ主要ですが、これから情報共有ツールとしてTwitterやFacebookを利用する翻訳

者は増えるでしょう。SNSのメリットはコミュニケーションの速さとウェブ全体に公開していないことです。FacebookやLinkedInを通じて翻訳案件に関する相談を受けたこともあります。

その他によく使うウェブサイトは内閣官房の法令翻訳データサイト、グローヴァの怒涛の翻訳例辞書、とその他のウェブベース辞書。参考程度で英辞郎を使う場合はあります。

同業の個人翻訳者および翻訳会社の方へ一言

経済不況を乗り越えるため、もっと翻訳会社と個人翻訳者との間に理解が必要。翻訳会社があまりにも安い仕事をクライアントから受けて、翻訳者に回したら、個人翻訳者の生活が苦しくなります。逆に個人翻訳者はある程度妥協しないと、仕事が来なくなる可能性があります。ただ今の不況が永遠に続く訳ではなく、今あまりに安い翻訳単価を設定したら、お互いに望ましくないかと思います。



実務に直結する産業翻訳講座〈通学科・通信科〉を多数開講!! ☆翻訳セミナーも開催!

サン・フレア アカデミーの翻訳講座

◇ レベル別・分野別に多彩な講座を開講中!
☆入門講座 ★基礎講座 ☆専門講座 ★速修講座
授業見学・テキスト閲覧→随時受け付けています。
◆ 翻訳作業の効率UP! 「TRADOS1日講習会」
※毎月開催。要事前予約。

各種セミナー(翻訳・知識習得)のご案内

★「脳をうまく使う方法」8/30(日)開催 8/24申込締切
脳の働きと、その上手な使い方について楽しく講義します!
★「化学翻訳の基礎を学ぶ」9/5(土)開催 8/26申込締切
化学翻訳に興味があり、専門知識のない方が対象です!
会場:サン・フレアアカデミー(各線新宿駅 徒歩3分)
定員は20名です。お申込はお早めに!

「翻訳」で世界をつなぐ

株式会社 サン・フレア

サン・フレアアカデミー

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-13-12 西新宿昭和ビル4F

<http://www.sunflare.com/academy/>

TEL : 03-6302-3391

【現場の声】 客先の向う側

上條 博之 (株) 十印 翻訳部

「この未曾有の大不況の中…」と、流行のマクラ言葉で括るには、いささか複雑な現況ではある。各業界で非常時の回避行動にも似た大胆な方針転換が見られる中、日常の業務にも影響を感じる。翻訳会社のいち社員という立場が、視野を限定している可能性も高いとはいえ、まずは書かせていただく。

競争の実感

客先の予算削減などにより、「パイ」が小さくなってしまった、という声をよく耳にする。あわせて、1) だから異分野参入を企てている、2) 既存顧客への対応を強化するつもり、といったお話も伺う。

異分野への参入については、安易に達成可能なことではなく、成否のいずれにしろ事例ごとの要因が大きいのと思うのでコメントは控える。むしろ、現場への影響は上記の 2) の方が見えやすい。要は、コスト管理の強化と、顧客満足度の目標アップである。

どちらも平素から心がけることだが、パイが小さくなった昨今は、やはりコスト管理が重点とされる。要は、案件の枠組み内の作業時間で、問題の生じない訳稿を納めてくれる翻訳者/QA が望ましい、という話である。

当たり前ではあるものの、たまたま質の低い訳文の品質を確保する場合には、通常のチェックを前提に設定された作業時間内に、通常でないチェックが必要なので、「割りと大変」である。

割り切りとこだわり

「早い、安い、上手い」と三要素を挙

げたとき、「別に上手でなくとも、水準に達していればよい」という声も聞かれる。確かに、その方針の存在自体に争う余地はない。業界のイベントでは、少なくとも 7 年ほど前にはもう、「翻訳はコモディティ（誰がやっても同程度のもの）になったか？」という議題が出ていた。市場の要請に応え、その活動を通じて利益を得ることは営利企業の常道である。

とはいえ、案件と担当者を「適材適所」に差配すること、実際の業務を通じた担当者の実力アップを企図する立場からは、あくまでもスピード重視の翻訳や、「パッと見る」チェックを要請され続けている話を伺うたびに複雑である。

何かの機会にそうしたお仕事を拝見すると、専門知識の学習、原文読解の訓練、訳文の推敲、いずれも「後回し」の様子である。年の単位でお仕事を重ねても、さほど伸びないケースには考えさせられる。お仕事を多数こなしても、それが「糧」にはならず、むしろ自身が消耗しているのである。

また、本当に上手くて頼れる翻訳者様から、「実は他の翻訳分野を志向してしまして」と伺うことが多いという事実もある。もちろん、そのような方が CAT ツールの「スキル」をお持ちのケースは、非常に貴重である。

産業翻訳者として 10 年ほどの実績を積んで「ウデ」を磨き、「駆け出しの立場」を抜け出した後の、「その先」が見えにくいご時世なのだろうか。

トライアル応募の答案を日々拝見していても、客先の「早い、安い、上手い」に応えられる「ウデとスキル」をお持ち

の方は、浜の真砂の中にひとつ、ふたつ、あれば幸甚という状況である。

埋没しないために

確かに、「いつでも均質で、納期も予算も好都合」なベンダーを、1 つあるいは複数揃えた体制を望む客先はある。ここでは「合意がある」ことが大切で、「このコストと納期なら、品質はこのくらいで」という枠組みができたなら、それに合わせた仕組みを日々回し続けることが利益となる。

しかし、既存顧客への対応強化における顧客満足度アップを視野に入れたとき、「上手い」という要素が生きる場面も必ずある。品質の確保に苦労はあっても、客先の評価を通じて案件が膨らんだり、いったんは他社に行った案件が戻ってくる、といったことに、営業や PM の客先対応、技術スタッフのサポートなどと共に貢献できるのは無上の喜びである。

翻訳の質について、「どこでもいっしょな選択肢のひとつ」ではなく、他にない特長を持つこと。これは、非常な困難ではあるが、目指さなければ始まらないことでもある。

例えば、多くの人が日常的に PC やゲーム機を使う現代には、そうした機器の画面でユーザーが読む日本語の質が重要になる。「日々の言葉」に関して産業翻訳にも微力ながらできることはあると思う。客先に納めて案件をクローズして終わり、ではなく、実際に世に流れている例を参考にしながら、引き続き学んで行きたい。

翻訳の十印
TOIN
ESTABLISHED 1963

プロの仕事がここにある！

十印はローカライズ、翻訳、マニュアル製作、通訳といったコミュニケーションの橋渡しに総合的にかかわるアジアのトップ企業です。わたしたちが現在向かっている、アジアから世界への飛躍と一緒ににめざしていく有能な人材を求めています。



とおいん
株式会社 十印
東京都港区芝1-12-7 芝一丁目ビル 〒105-0014

募集職種

● 翻訳者 / QA チェッカー

募集言語

● 和文英訳 / 英文和訳 / 英文中訳 / 英文独訳 / その他

募集分野

● 医療・医薬・医療機器 / 半導体関連 / 化学分析 / その他 IT 関連

報酬、待遇等委細は面談にて。
勤務形態、資格等は職種によって異なります。
詳細は、弊社ホームページでご確認ください。

▶▶▶ <http://www.to-in.com/ja>

応募もこちらのホームページからできます。

お問い合わせ

応募に関するお問い合わせは、VM(外注管理)部までお願いいたします。

TEL 03-3455-8715

雇用調整助成金及び中小企業緊急雇用安定助成金制度の更なる拡充・改正について

寺田 大輔 JTF 事務局次長

平成 21 年 6 月 8 日、厚生労働省より当連盟を含めた各省所管の業界団体等に対して、「雇用調整助成金及び中小企業緊急雇用安定助成金制度の更なる拡充・改正」について、加盟企業に通知を図るようとの要請がありましたので、下記の通り、法人会員の皆様方にお知らせ致します。

■助成金の概要

景気の変動、産業構造の変化などの経済上の理由により、事業活動の縮小を余儀なくされた事業主が、一時的に休業、教育訓練又は出向により、労働者の雇用の維持を図る場合、その賃金の一部を助成します。

■支給対象

◎支給対象事業主：雇用保険適用事業所

◎支給対象労働者：雇用保険被保険者（被保険者であった期間は問いません）

■支給要件

- 1) 最近 3 か月の生産量、売上高等の指標がその直前 3 か月又は前年同期と比べて 5% 以上減少していること（中小企業で前期決算等の経常損益が赤字の場合、5% 未満の減少でも可能）
- 2) 実施する休業、教育訓練及び出向が労使協定に基づくものであること（計画届の提出時に協定書の提出が必要）等

■受給手続き

本助成金は事業主が指定した 1 年間の対象期間について、実際に休業を行う判定基礎期間（賃金締切期間）ごとに事前に計画届を提出することが必要です。支給申請期間は判定基礎期間終了後 1 か月以内です。

■助成内容

- 1) 助成金額のアップ

○大企業（雇用調整助成金）

<http://www.mhlw.go.jp/general/seido/josei/kyufukin/a01-1.html>

- ・休業、教育訓練、出向に係る費用の助成率：2/3
→解雇等を行わない場合：3/4（改定前は 2/3）

→障害のある人の休業等及び出向：3/4（改定前は 2/3）

- ・教育訓練実施に係る加算額：4,000 円（半日の場合は半額、改定前は 1,200 円）

○中小企業（中小企業緊急雇用安定助成金制度）

<http://www.mhlw.go.jp/general/seido/josei/kyufukin/a01-2.html>

- ・休業、教育訓練、出向に係る費用の助成率：4/5
→解雇等を行わない場合：9/10（改定前は 4/5）
→障害のある人の休業等及び出向：9/10（改定前は 4/5）
- ・教育訓練実施に係る加算額：6,000 円（半日の場合は半額、改定前は 1,200 円）
※解雇等は雇止め、派遣労働者の中途契約解除等を含みます。
※教育訓練実施に係る加算額を除いた日額は 7,730 円が上限。

2) 助成金の支給対象の拡大

- ・対象労働者の拡大
雇用保険被保険者期間 6 か月以上の労働者を対象としていましたが、期間を問わず被保険者全員が対象となり、新規学卒者等も利用できるようになりました。
- ・生産量要件の見直し
従来、原則として「生産量」により事業活動を縮小していましたが、「売上高又は生産量」により確認できるようになりました。
- ・特例短時間休業を支給対象に追加
1 時間単位で休業する場合は、事業所の被保険者全員がいっせいに休業する必要がありましたが、労働者ごとに 1 時間単位で休業することが可能となりました。
- ・助成対象となる教育訓練の要件緩和と基準の見直し
教育訓練の対象範囲が幅広く認められるようになるとともに、事業所内における訓練について、半日単位の実施も可能となりました（ただし、訓練費は半額）。教育訓練の判断基準について

は以下のサイトを参照。

<http://www.mhlw.go.jp/general/seido/josei/kyufukin/pdf/koyouuji02.pdf>

- ・在籍出向者の休業等を支給対象に追加
在籍出向者が出向先において休業等をした場合は対象外でしたが、出向元と休業等協定を結ぶこと、出向元において支給要件を満たすこと等により、利用可能となりました。

■資金繰りについて

助成金の支給までの資金繰りについては、中小企業庁・金融庁から政府系を含む金融機関に対して協力を要請しています。日本政策金融公庫では、雇用調整助成金（中小企業緊急雇用安定助成金等）の届出を行った企業に向けた低利融資（地域活性化・雇用促進基金）を 5 月 11 日より実施しています。

- ・日本政策金融公庫

<http://www.jfc.go.jp/>

個別の相談については、助成金の申請を行っていることが確認できる書類を持参の上、全国 900 箇所に設置されている「緊急相談窓口」にご相談ください。

- ・中小企業庁「緊急相談窓口」
<http://www.chusho.meti.go.jp/kinyu/shikinguri/madoguchi.htm>
- ・中小企業庁「経済危機対策」における中小企業金融対策について
<http://www.chusho.meti.go.jp/kinyu/2009/090427ChushoKinyuTaisaku.htm>

■本制度に関するお問い合わせ先

- ・全国のハローワーク
<http://www.mhlw.go.jp/kyujin/hwmap.html>
- ・都道府県労働局
<http://www.mhlw.go.jp/general/seido/josei/kyufukin/f01.html>

■関連サイト

- ・残業削減雇用維持奨励金
<http://www.mhlw.go.jp/general/seido/josei/kyufukin/pdf/syourei.pdf>
- ・緊急保証制度
http://www.jtf.jp/pdf/pdf_tokurei.pdf

ほんれんそう No.140

英語漫筆(20) 助動詞、副詞 山崎 義昭 (株) アドレム代表取締役

助動詞 — Shall, Will, May

契約書にあって shall, will, may がそれぞれ特別の意味合いを持っていることはよく知られていますが、その厳密な区別という点では必ずしも充分理解されていないことが間々あります。

shall: 契約上の義務を表わし、法的強制力を伴います。従い、この違反は損害賠償、強制履行、契約解除などの対象となります。

will: 義務を表わしますが、法的強制力までは意味しない場合に用いられます。

[例] **The Owner will** provide light and heat, but **the**

Contractor shall furnish his own water and sanitary facilities.

may: 契約上の権利、権限、特権などを表わす場合に用いられ、その権利は法的強制力を持ちます。

これらの言葉で注意すべき点を2、3挙げてみます。

◆ shall

"Licensor" shall mean a manufacturer who gives a license. などと訳された例を見かけますが、「定義」は義務に関係ありませんので、正しくは "Licensor" means a manufacturer who gives a license. のように shall は不要です。また、権利を表わす場合に「…とする」という日本語の影響で間違っ

The machinery shall remain the property of the Owner.

Company X shall receive an initial payment of \$100,000.

これらはいずれも以下のように改める必要があります。

The machinery remains the property of the Owner.

Company X has the right to receive an initial payment of \$100,000.

◆ may not

これは強い「禁止」を表わしますが、「推定」と間違っ

◆ 習慣・習性を表わす will

A large whale **will** measure sixty or seventy feet in length.

「鯨も大きいものになると体長 60-70 フィートに及ぶものが往々にしてある」

Breast cancer is the most common malignancy among women and has the highest fatality rate of all cancers affecting this sex. One of every 15 women in the USA **will** develop breast cancer.

◆ 話者の意志を表わす shall

You **shall** not be false to me and live.

「私を騙したりしたら生かしてはおかんぞ」

◆ 命令文に代わる should

機械の取扱説明書などで手順を説明する場合に、命令文の代わ

りに should を用いることがあります。これを逐一「すべきである」と訳しますと大変ぎこちない文章になります。The bolts should be tightened evenly. は Tighten the bolts evenly. と同じ意味ですので、「ボルトは均一に締めるべきである」ではなく「ボルトは均一に締める」、「ボルトは均一に締めること」で十分です。

◆ 推量を表わす would

「ある人はこう言い、またある人はこう言い、さらに他の人はこう言う」というような場合、Some say……, some say……, and others say…… とし勝ちですが、英語では「推量」の意味をこめて would を用います。

Some **would** say poverty is an intolerable disgrace, some would say poverty is a blessing in disguise.

副詞

◆ 「再び」でない again

again を単に「再度、再び」と訳すと不都合の起こることがあります。OED は「再び」とは違った意味を "back in a former position or state; anew; once more as before" と説明しています。

Over his long robe of striped cotton he wore a discarded khaki tunic, old and stained and torn. A faded red knitted scarf was tucked into the ragged coat. His head showed again the dignity of the Arab dress, the inevitable keffiyah of black and white held in place by the black silk agal.

「頭の装いもやはりアラブ人衣装の尊厳を示すもので」

実務翻訳でもこの意味での again はしばしば用いられます。

In this study, in addition to the reproductive toxicity, DMMP was **again** shown to be toxic to the kidneys.

この試験報告中の again を「DMMP は腎臓に対し毒性のあることが再び示された」と訳すと試験を2度行ったと解釈されます。しかし、そうではなく「DMMP は（生殖器のみでなく）腎臓に対してもやはり毒性のあることが示された」という意味です。

Miss Charnwood's party might yet prove the dreariest of non-events, but, **then again**, it might.

「これといった事もない退屈極まりない集まりかも知れず、あるいはそうでないかも知れない」

◆ 「上に下に」でない up and down

He nodded his head up and down in agreement.

Slowly and emphatically he wagged a finger **up and down**.

最初の文章で up and down は文字通り「上下に」ですが、次の

文章では「指を左右に振る」欧米人に特有の動作を表わしています。さらに、up and down は「前後、左右」から「広く」、「くまなく」、「徹底的に」という意味に発展してゆきます。

He walked **up and down** the platform. (プラットフォームを行きつ戻りつした)

The late sun was like a yellow flame in the trees and she shielded her eyes and kept looking at the row of **cars parked up and down the street**. (道路沿いにずらりと停められた車)

I suppose I know her through and through and **up and down**. (彼女のことについては余すところなく知り尽くしている)

◆「技術的に」でない technically

Lax banking supervision, perverse links between borrowers and lenders, directed lending through state banks and heavy unhedged foreign borrowing have left a mountain of debt. As a result of devaluation, the ratio of foreign bank debt to GDP has jumped from 35% to 140%; most Indonesian banks and firms are now **technically bankrupt**.

「いまや厳密に言うと破産状態である」

◆「最近」ではない recently

Select a scrupulously clean, dry pycnometer that previously has been calibrated by determining its weight and the weight of **recently boiled** water contained in it at 25.

「沸かしたての湯」

◆「そこ」に違いないが「そこ」と訳せない there

My advice to others our age is to stop whining and **listen to what those who have been there have to say**.

「そこにいたことがある」つまり「そういうことを経験している人の言うことに耳を傾ける」

We used to have gentlemen in politics. Precious few of them now. I wish this chap was a gentleman, but he isn't, and **there it is**.

「そこが問題」

◆全文を修飾する副詞

文頭、文尾にあってカンマで区切られている (set off) されている副詞が全文を修飾することはよく知られています。

Happily, he was not injured. 「幸い、彼は怪我をしなかった」

The play ended, happily. 「(面白くない) 芝居が終わってほっとした」

他方、一見普通の使い方に見える副詞でも全文を修飾している場合があります。

And I'm sure you'd agree **it's a subject best discussed face to face**. 「この話は会って話すのが一番よい」

The sole would be **better kept** a day or two but the plaice were **better fresh**.

「舌平目は一両日置くのがより美味しく、カレイは獲れ立ての方がより美味しい」

better, best が全文を修飾する場合、通常とは異なる位置に挿入されますが、通常の位置であっても全文を修飾する副詞もあります。

These four congeneric semisynthetic penicillins are similar pharmacologically and are thus **conveniently** considered together. 「したがって、まとめて考察するのが好都合である」

For example, topical steroids should **ideally** be rapidly biotransformed before reaching the systemic circulation.

「体循環に入る前に早く生体内変化をうけるのが理想と言えるだろう」

This technology derives from the discovery of two types of enzymes that **together** bring about recombination in vitro: *restriction endonucleases and DNA ligases*.

「一緒にすると in vitro 組換えを起こす 2 種の酵素」

一般に、通常と異なった位置に置かれている場合は、「強調」か「通常とは違った意味」で用いられていると考えるのがよく、この点に注意ないと、次のような誤訳をすることがあります。

World grain stocks are at their lowest level since the late 1970s, and in percentage terms are **lower still**: only 13% of annual global demand exists in storage, compared with the United Nations's recommended figure of 17%.

誤った訳：世界の穀物在庫はいまや 1970 年代後半以降で最低の水準にあり、%表示の数字も依然低迷している。

正しい訳：世界の穀物在庫はいまや 1970 年代後半以降で最低の水準にあり、%ベースではその水準はさらに低い。

otherwise も誤訳頻度の高い言葉です。

It should be emphasized that the Subjects are at liberty to withdraw their consent to participate at any time, without penalty or loss of benefits to which the Subjects are **otherwise** entitled.

誤った訳：被験者は、不利になることも被験者が他の点で受ける権利のある利益を失うことも無く、いつでも治験参加の同意を撤回することができることを強調すべきである。
正しい訳：被験者はいつでも自由に治験参加の同意を撤回することができ、撤回しても不利な扱いを受けることはなく、また撤回しない場合に生じる利益を受ける権利を失わないことを被験者にとくによく説明すべきである。

otherwise には「そうでなければ」、「別の方法で」、「他の点では」、「他のように、異なって」などの意味のほかに「先に述べた条件、状況がなかったとすれば」の意味がありますが、この意味を取り違える例が実務翻訳で多く見られます。

On the compact discs, the pits are dark hollows on the **otherwise brightly reflective, aluminum-coated surface**.

「ピットがなければピカピカと反射するアルミ処理表面」

Alethia Debchance sat in a corner of an **otherwise empty railway carriage**, more or less at ease as regarded body, but in some trepidation as to mind.

「アレシアは車両の片隅の席に座った。彼以外乗客はいなかったので、身体的には多少ゆったりとした気がしたが、精神的にはなにか薄気味の悪い気がした」

Take Five (20)

松田 勝 JTF 会員

knee-jerk reflex

ひざ頭 (knee) を打つと、脚がひとりでに跳ねるのがそれ。転じて、「無条件反射、自動的・ワンパターンの反応」。Among some politicians and newspaper writers in New York, diplomat-bashing is almost a knee-jerk reflex. (ニューヨークの一部政治家や新聞記者連中は、外交官とみると、叩くのが当たり前といった態度に出る)。Whenever I wear shoes I haven't worn in some time, my husband's knee-jerk reaction is to accuse me of buying a new pair. (しばらく履いていなかった靴を履くと、夫はきまって、新しいものを買ったものとかってきて、私を責める)。

curiosity seeker

珍しい、好奇心をそそるもの (curiosity) を求める者 (seeker) は、すなわち、詮索好き、野次馬、物見高い人のこと。The courtroom was packed with curiosity seekers who came to see the jury deliver the verdict on the shoplifting case of the famous actress. (その有名女優の万引き事件で、陪審の評決を聞きに集まった、物見高い人々で法廷は埋まった)。The curiosity seeker was accosted by two burly officers when he ducked under the police barrier. (その野次馬は、警察のバリケードをくぐり抜けたところで、屈強な警官二人に引き止められた)。rubbernecker も同義。

airport novel

文字通り空港の売店で売られているような、機内で時間つぶしに読む大衆小説。To get ready for a 15-hour flight to Tokyo, I usually buy a couple of airport novels, particularly best-selling mysteries, at JFK airport. (東京までの15時間の飛行の前に、私はいつもニューヨークのケネディー空港で、ベストセラーのミステリーなど、ひまつぶしのための小説を2、3冊買うことにしている)。That couple could never be in a book group together, because she reads only classic literature and he prefers airport novels. (妻は古典文学一辺倒だし、夫

のほうは大衆小説派なので、夫婦が一緒に読書サークルに参加することは考えられない)。airport fiction と同義。potboiler。

toss-up

裏から勝負をつけるためのコイン投げ。転じて、五分五分の確率のこと。Republicans regained control of the Senate in the mid-term election as the party won in several toss-up states such as Missouri and Minnesota. (共和党は中間選挙で、ミズーリ、ミネソタなど勝率五分五分とみられた数州で勝利を収め、上院で過半数の議席を奪還した)。Fridays can be easy at work or horrible; it's a toss-up, depending on our supervisor's mood. (上司の気分次第で、金曜日の職場は天国にも、地獄にもなる。五分五分だ)。

cut to the chase

核心に迫る。要点だけをかいつまんで話す。the chase は映画の追跡場面。クライマックスのカーチェイスの場面までフィルムを早送りをするとところから。When the aide began a detailed explanation about the negotiations with the city worker's union, the mayor grew impatient and told her to cut to the chase. (補佐官が市の職員組合との労使交渉について、詳しく説明を始めたところ、市長はいらだてて、結論を早く言えとせかした)。get to the point も同義。

sore loser

スポーツやゲームなどで負けてくやしがる人。He has a reputation of being a sore loser because he always makes excuses when he loses in card games. (彼はトランプで負けると、いつも言い訳をするので、負け方が潔くないとの悪評がたっている)。George Bush supporters called Vice President Al Gore a sore loser after he denounced the supreme court ruling turning down the request for a recount in Florida. ([2000年秋の大統領選で] ゴア副大統領が、フロリダ州での投票用紙の再集計の要求を棄却

した最高裁の決定を批判したので、ブッシュ支持者は、同氏を見苦しい敗者と呼んだ)。“負けても悪びれない人、潔い敗者” は、a sport, a good loser。

battle-tested

“戦いのなかで試された” から「百戦錬磨の」「実践で成功した」。Investors returned to the battle-tested practice of buying the dips. (投資家は市場での経験則にのっとり、押し目買いに戻った)。He is a battle-tested politician who performs well in debates. (彼は論戦を得意とする百戦錬磨の政治家だ)。The country is continuing to upgrade its own battle-tested economic-management model. (その国は、実践の中で成果を収めた経済運営手法にさらに磨きをかけている)。battle-trained などとも。

stack the deck

トランプの札 (deck) を、いかさまに並べ (stack)、自分に有利になるようにする。転じて、不正工作をする、いんちきをする。Several top officials at that major construction firm were arrested for allegedly stacking the deck in the bidding for the city's subway expansion project. (市の地下鉄延長工事の不正入札容疑で、同大手建設会社の幹部数人が逮捕された)。When our office played softball this summer, the managers stacked the deck against us by recruiting college players for their side. (今年の夏開いた職場のソフトボール大会で、管理職連は自分達のチームに大学の選手を参加させ、勝ちゲームを仕組んだ)。rig, load the dice も同義。

『Take Five』は、2006年3/4月号より全20回にわたって連載してまいりましたが、松田勝氏より「ストックしたネタも尽きかけて... 終了させていただきたい」とのこと。誠に残念ですが、本稿が最終回ということになりました。松田氏には、心より感謝いたします。(ジャーナル編集委員会)

JTF 翻訳環境研究会報告

平成 21 年度第 1 回 JTF 翻訳環境研究会

平成 21 年 6 月 11 日 (木) 14:00 ~ 16:40

【開催場所】 剛堂会館ビル

【テーマ】 「あの手・この手の特許翻訳」

【講師】 杉山 範雄氏 (特許翻訳者)

杉山氏は、国内のメーカーを経て、特許事務所に勤務し、その後フリーの特許翻訳者となられた。またブログ「あの手・この手の特許翻訳」(<http://www.zoomin.co.jp/patbank/rensai/sugiyama.html>)の執筆者としても有名。

講演前半では特許事務所から仕事をもらうにはどのくらいのレベルが必要か、後半はフリーソフトやシェアウェアを利用したツールの使い方について語った。

●不況の影響

100 年に一度の不況といわれる現在、



翻訳依頼の減少や翻訳料金の値下げにあわれている方も多いのでは？私も昨年末に取引先から翻訳料の値下げ依頼と仕事量の減少の知らせが届いた。フリーランサーがこの深刻な不景気を生き残る一番の方法は、翻訳品質を高く保つことだ。

● 翻訳品質とは？

翻訳品質とは、すなわち翻訳チェックにあまり手がかからない翻訳文を納品するということだ。では、フリーの特許翻訳者として、翻訳会社を介さずに特許事務所から直接仕事を受注できる翻訳品質とは何かというと、(1) 技術的なロジックが正確で (2) コメントが充実している (3) 原文に忠実であるということだ。

技術的なロジックが正確とは、言い換えれば原文にダメされないということだ。訳していて疑問に思うところがあったら、トコトン推理してみるのだ。

コメントが充実していた方が良くと思う理由は、コメントは顧客との大事なコミュニケーションの手段であると思うからだ。

原文に忠実とは、たとえば、なるべく単語ごとに異なる訳を当てるということだ。たとえば、“position” は「位置」、 “location” は「箇所」と別々にする。こうすることで、発注元が同一の訳語にしたい場合は置換して訳語を統一すればいい。もし最初から同じ訳語にしていたら、後から別々の訳語にする場合、原文を当たって 1 つ 1 つチェックしてから直すという、とても大変なことになってしまう。このように後から一括変換をかけられるようにするためにも、「この単語の訳語は〇〇にしました」とコメントに書いておく必要がある。この点でもコメントを充実させる必要があるのだ。

しかし、これらは時間の掛かることばかりである。翻訳品質と作業効率を向上、維持するためには、機械にできることは機械に速く正確な処理をさせ、その浮いた分の時間を翻訳者は本来の翻訳作業に費やすのだ。そのためには、ツールの使用が欠かせない。そこで、私が現在行っている、ツールを使った上書き翻訳という方法をご紹介します。

●上書き翻訳の手順

上書き翻訳とは、秀丸 (TEXT エディタ) と、その他ツール (シェアウェアやフリーソフトなど) を使って、原文を訳文に置き換えていく方法だ。

通常は「原文の素読み→訳文作成→訳文チェック→納品」という手順で進むが、上書き作業はツールと、自分で用意した用語集を使って、単語を訳語に置き換えていく方法だ。手順としては、「原文を文章単位に切る→用語集を使って単語を訳語に置き換える→反転作業などで訳文作成→取引先のフォーマットに訳文を成型→訳文を Word にコピー・ペースト→納品」となる。

反転作業とは訳語の順番を反転させて日本語の位置に置き換える作業である。これが通常の翻訳作業であり、最も時間を費やしている。原文と訳文との整合チェックもこの時点で行っている。用語集を使って原文の単語を訳語に置き換えるので、単語の整合性もきちんと取れている。

紹介したものの他にもいろいろなテクニックを、自分のブログで紹介しているので、参考にして欲しい。

報告者：津田 美貴 (個人翻訳者)

エムアイシー株式会社

MIC CORPORATION

URL : <http://www.mic-japan.com/>



〒456-0074 名古屋市熱田区比々野41-1-805

TEL : 052-671-7180 FAX : 052-678-1276

〒106-0047 東京都港区南麻布2丁目3-22-1102

TEL : 03-5419-7177 FAX : 03-5419-7178

応募は以下メールアドレスにて受け付けます。

E-mail : trial@mic-japan.com

★以下の翻訳者大募集中★

・ ITローカリゼーション 和訳翻訳者

(SDL Trados で IT 系ローカライズ翻訳の経験がある方)

・ 自動車関連 和訳翻訳者 (Trados または Transit で翻訳可能な方)

・ 医療関連翻訳者 (Trados で翻訳のできる方)

法人会員プロフィール

株式会社 trinity

〒 214-0012
 神奈川県川崎市多摩区中野島
 4-1-1-210
 TEL: 044-982-8765
 FAX: 044-930-6254
 E-mail: info@trinityjp.com
 URL: <http://www.trinityjp.com>

■会社概要

トリニティは、翻訳、DTP、エンジニアリングの各分野でフリーランスとしてキャリアを積んだ職人が「三位一体」(trinity)を目指して立ち上げた会社です。

小さな会社ですが、品質に対する熱意とこだわりについては業界一を自負しています。少なくともそうなることが弊社の目標であり、信念でもあります。

IT分野のローカライズが業務のほぼ100%を占めており、SDL Trados Workbenchなどの各種CATツールに加えて、自社の独自開発ツールを駆使して精度と整合性を確保しています。

長年のフリーランス経験を生かして、フリーランス翻訳者やレビューアにとって仕事がしやすい環境を提供しながら、きめ細かなフィードバックを通じて共に成長していくことを目指しています。

■ポリシー

弊社独自の翻訳品質向上システムにより、正確でわかりやすい翻訳サービスを提供すると同時に、厳選した翻訳者に高い教育とサポートを提供しています。

また、自社開発の品質向上ツールやシステムを作成し、高い翻訳品質を維持す

ることに努めています。

■フリーランス翻訳者&レビューアのみなさまへ

フリーランス翻訳者は、翻訳単価の下落のために非常に厳しい状態に置かれています。これは翻訳会社も同じです。コスト削減のためにいずれは機械翻訳が主流になるという話も現実味を帯びてきています。

「これなら機械翻訳と変わらない」と思われても仕方ないような訳文を納品している翻訳者や翻訳会社はやがて淘汰されていくでしょう。今後業界がどのように変化しても、生身の人間にしかできない配慮や洞察が行き届いた仕事ができるかどうか、どこまで付加価値を生み出せるかが鍵となります。

単に英語を日本語に置き換えるだけなら、中学生でもできます。当然のことですが、誤訳や意味不明な訳文もプロの仕事としては受け入れられません。プロが納品する訳文は「商品」として通用するものでなければなりません。「トリニティに任せれば安心」とお客様に思ってもらえることが弊社のモットーです。

「良い翻訳を商品として提供したい」という強い意志がありますので、無理な納期設定は絶対にしません。

仕事がしやすい環境を提供することが、翻訳の品質向上に直結すると信じています。

また、ローカライズの分野では、スタイルガイドを熟読して遵守すること、チームで1つの商品を作り上げていくという意識があること、不明な点は曖昧にせず積極的に質問することなども重要

な要件です。

翻訳者があげてきた訳文を「商品」として仕上げてくださるのがレビューアです。

レビューアには翻訳者志望の方が多いのですが、弊社ではレビューアには翻訳者以上の力が必要だと思っています。レビュー作業では他人の訳文に触れることができるため、将来翻訳者として独立する上でも非常に良い勉強になります。仕事を通じて多くを学んで、周辺知識も吸収して頂きたいと考えています。

トリニティでは、できるだけフィードバックを返し、翻訳者さんにもレビューアさんにも成長して頂くことを重視しています。トリニティで仕事をしていけばどんな時代でも通用するプロになれる、というのが弊社の願いです。

翻訳者にとって「完成」はなく、生涯が勉強であること。

孤独に強く、前向きであること。

常に丁寧な仕事をし、築いてきた信頼を損なわないように努力すること。

ミスは許されないというプロ意識を持つこと。

このような強い意思と意識を持った翻訳者、レビューアのご応募をお待ちしております。

コミュニケーションはメール中心ですので、トライアルでは翻訳能力はもちろん、メールでのやり取りも審査対象としています。弊社のトライアルの合格率は1割程度ですが、登録翻訳者さんとは緻密なコミュニケーションを通じて信頼関係を構築しております。

フリーランススタッフ常時募集中

(株)trinityではフリーランススタッフを募集しております。

- 翻訳者 (英⇄日)
- レビューア (英⇄日)
- エンジニア (Perl、VisualBasic等によるツール作成/作業)

<http://www.trinityjp.com> 内のRECRUITページからご応募ください。



〒214-0012
 神奈川県川崎市多摩区中野島4-1-1-210
 TEL 044-982-8765 FAX 044-930-6254
<http://www.trinityjp.com>